

空間の軽さ

ギャザーによる空間演出

指導教員 吉松秀樹教授 印

7AE3127 渡部 薫美

■問題意識

バレリーナが踊るときに着用するクラシック・チュチュを見て、何枚も重ねているのに重くならずふわふわとしており、軽く見えることに魅力を感じた。なぜ動かないのに動いているように見えるのか、軽くないのに軽いように見えるのか疑問に思った (Fig. 1)。



Fig. 1 チュチュ

チュチュ自体は軽くなく、人間が動く事により動くのであり、チュチュは動く・軽く見えるようにするための演出である。この演出をするためには単に布を重ねるだけではなく、ギャザーを入れボリュームを出しメリハリをつけることが必要である。(Fig. 2)

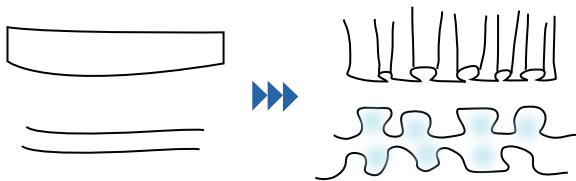


Fig. 2 ギャザー

■都市の演出

高層が立ち並ぶ新宿駅前だが、高層だけではなくところどころに低層が混ざる。高層と低層の差が生じることにより出来たギャザーによって空間に躍動感や、動き・軽さが見いだせる (Fig. 3)。



Fig. 3 新宿



Fig. 4 銀座

しかし、銀座は高層が多く、スカイラインが一定なので空間に動きや軽さが見い出せない (fig. 4)。

■モデル化

スカイラインは垂直方向のギャザーであり、平面にギャザーを寄せるようにするとより空間に軽さ・動きがわかるのではないかと考察した (fig. 5)

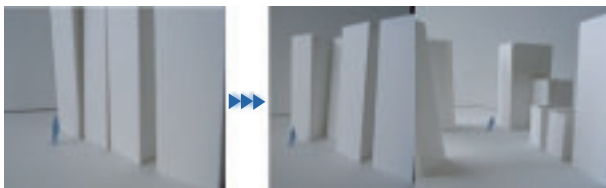


Fig. 5 平面モデル

■住宅設計に応用する

ギャザーを入れることでなにもない空間からメリハリが生まれる (Fig. 6)。



Fig. 6 空間ダイアグラム

平面にギャザーを発生させることによりメリハリが出来ドアや壁などの仕切りを使わずにpublicスペースとprivateスペースをゾーニングすることが出来る (fig. 7) (fig. 8)。

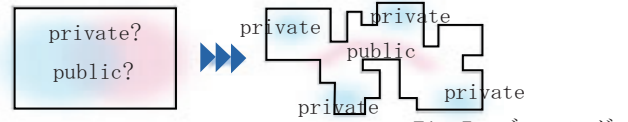


Fig. 7 ゾーニング



Fig. 8 模型内部写真

メリハリがあることで、空間に演出が生まれ、軽さ・動きを表現した住宅を提案する (fig. 9) (fig. 10)。

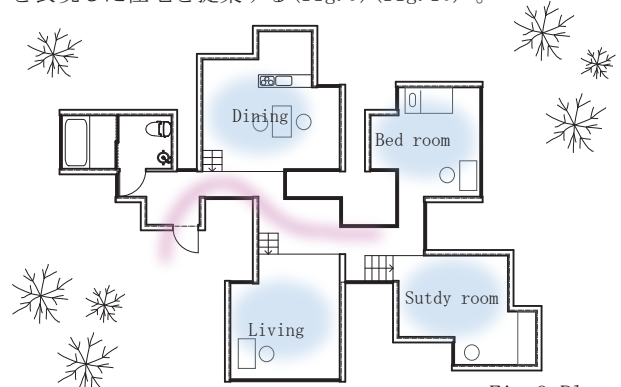


Fig. 9 Plan



Fig. 10 模型写真